

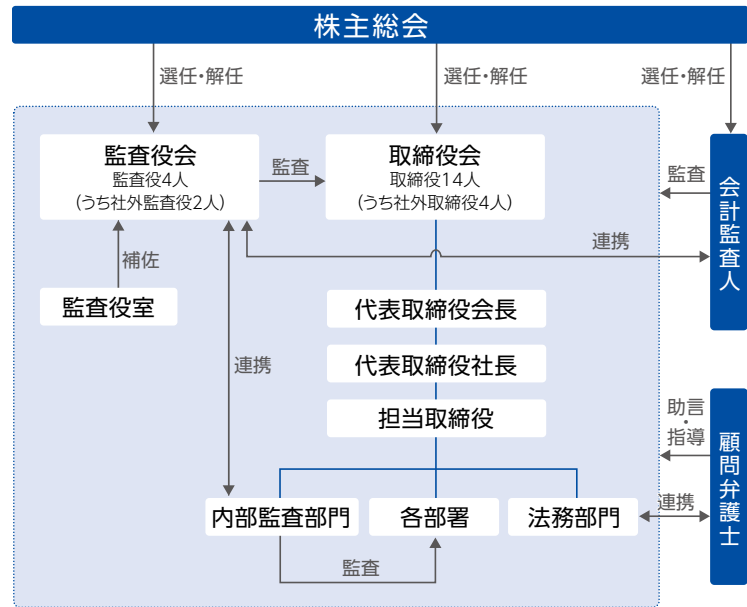


# コーポレート・ガバナンス

コーポレート・ガバナンスを経営上の重要課題として認識し、取締役の責任および個別事業の責任体制を明確にしています。今後も経営の透明性および迅速性を確保していきます。

コーポレート・ガバナンスの取り組みにつきましては、  
下記アドレスからご覧いただけます。  
<https://www.maruchan.co.jp/csr/conduct/governance.html>

## コーポレート・ガバナンス体制 (2020年6月25日株主総会后)



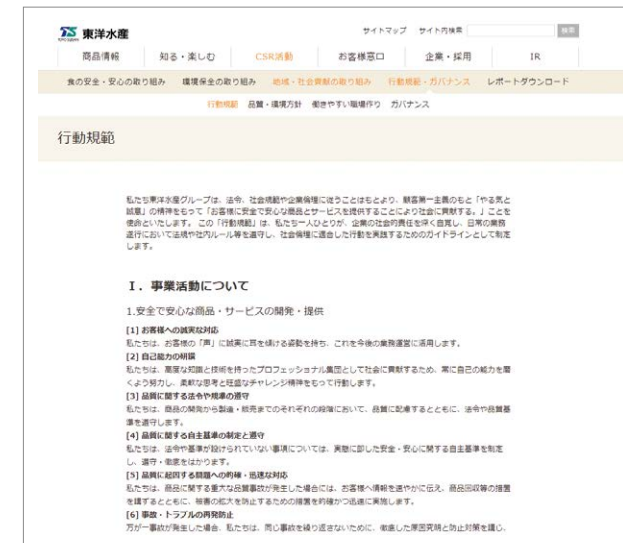
## 内部統制システムとリスク管理

取締役および社員が企業倫理や社会的責任の重要性を認識し、関連法規および各種規定を遵守するために内部統制システムを構築しており、業務が適切かつ効率よく実行されるように常に見直しを行っています。リスク管理については、内在するリスクを把握・分析・評価した上で適切に対策を実施しています。

## 東洋水産グループ行動規範

東洋水産グループでは、法令、社会規範や企業倫理に従うことはもとより、顧客第一主義のもと「やる気と誠意」の精神をもって「お客様に安全で安心な商品とサービスを提供することにより社会に貢献する」ことを使命と考えています。お客様・社会から信頼される誠実な企業であり続けるために、社員一人ひとりが、企業の社会的責任を深く自覚し、日常の業務遂行において法規や社内ルール等を遵守し、社会倫理に適合した行動を実践するためのガイドラインとして東洋水産グループ行動規範を制定しています。本ガイドラインは、HPでも公表しています。

<https://www.maruchan.co.jp/company/info/standard.html>



## コンプライアンス体制と内部通報制度の設置

東洋水産グループでは、コンプライアンスとは法令遵守に限らず、社内ルール、良識・モラルといった社会倫理、道徳なども含めて守ることであり、「ステークホルダーの信用・信頼に応えること」であることを一人ひとりに浸透・実践させることが重要と考えています。コンプライアンスを推進していくために、コンプライアンスマニュアルを作成し、内容の周知・徹底を図るとともに役員・全従業員を対象とした全国の事業所を巡回して実施するコンプライアンス勉強会を行うなど、コンプライアンス教育に取り組んでいます。また、法令違反や社内不正等、コンプライアンスに違反する行為の発生を防止または早期発見して是正することを目的に、内部通報制度「レポートライン」を設置しています。内部窓口（「一般窓口」「監査役窓口」と弁護士による外部窓口を設置し、通報者に不利益が及ばない仕組みを構築しています。



コンプライアンス勉強会の様子